

扶桑町公共交通に関するアンケート調査（概要）

扶桑町では、今後の少子高齢化・人口減少の問題への対応やまちづくりの視点から公共交通のあり方を検討していくため、町民の外出行動の実態や公共交通に対する考え方を把握することを目的とし、住民基本台帳から無作為に抽出した16歳以上の町民1000人、また、同じく無作為に抽出した障害者（16歳以上）、高齢者（60歳以上）の町民600人（各300人）を対象に公共交通に関するアンケート調査を実施した。

◆アンケートの概要

調査時期	2019（令和元）年8月から9月まで	
調査方法	郵便による調査票の配布・回収	
調査対象	町民全体：16歳以上の町民1000人（無作為抽出）	障害者・高齢者：600人（無作為抽出） 16歳以上の障害等の手帳を所持している町民300人 60歳以上の町民300人
回収状況	町民全体：回収数509票（回収率50.9%）	障害者・高齢者：回収数360票（回収率60.0%）

◆アンケート結果の概要

	町民全体	障害者・高齢者
運転免許証の有無 〈P.6〉〈P.35〉	「持っている」が85.7%、「持っていない」が14.1% ※持っていない人の割合は、80歳以上で50%、75～79歳で41.5%	「持っている」が65.3%、「持っていない」が31.9% ※持っていない人の割合は、80歳以上で68.8%
運転免許証を持っていない人の状況 〈P.7〉〈P.36〉	持っていない理由は、「元々取得していない」が62.4%、「自主返納した」が27.8% ※自主返納した人の年齢別割合は、80歳以上が50%、75歳～79歳が40%	持っていない理由は、「元々取得していない」が52.1%、「自主返納した」が28.7% ※自主返納した人の年齢別割合は、80歳以上が54.5%、75歳～79歳が27.3%
運転免許証を持っている人の状況 〈P.8〉〈P.37〉	<ul style="list-style-type: none"> 「自由に使える車がある」が80.7%、「家族で共有している」が14.9% 運転を続けたい年齢は、「運転できる限りずっと」が36%、「70歳くらい」が30.3%、「80歳くらい」が23.4% 将来、運転免許証の自主返納を「考えている」が51.2%、「考えているができない」が18.8%、「考えていない」が23.6% ※「考えているができない」「考えていない」理由は、「車がないと日常生活で困るため」が60%、「まだ自主返納を考えるような年齢ではないため」が47.6%	<ul style="list-style-type: none"> 「自由に使える車がある」が75.7%、「家族で共有している」が17.9% 運転を続けたい年齢は、「80歳くらい」が44.2%、「運転できる限りずっと」が34.4%、「70歳くらい」が11.9% 将来、運転免許証の自主返納を「考えている」が48.1%、「考えているができない」が28.5%、「考えていない」が14.9% ※「考えているができない」「考えていない」理由は、「車がないと日常生活で困るため」が74.5%、「他の移動手段だと目的地まで時間がかかるため」が35.3%
外出頻度 〈P.10〉〈P.39〉	「1週間のほぼ毎日」が61.8%、「週に3～4日」が15.5%、「平日はほぼ毎日」が13.4%	「1週間のほぼ毎日」が39.2%、「週に3～4日」が25%、「平日はほぼ毎日」が14.2%
外出目的① 〈P.11〉〈P.39〉	最も頻度の多い外出目的は「通勤・通学」（56.5%） <ul style="list-style-type: none"> 外出頻度は、週に5日以上が7割以上 外出する曜日は、月曜日～金曜日の平日が多い 外出時間帯は、午前が8割以上、帰宅時間帯は午後が8割以上 利用する移動手段は、自分で運転する「自家用車」が最も多い（約7割） 目的地は、扶桑町内が39.9%、大口町が20.4%、江南市が19.3%、犬山市が14.3% 	最も頻度の多い外出目的は「買い物」（34.2%） <ul style="list-style-type: none"> 外出頻度は、「1週間のほぼ毎日」が31.1%、「週に3～4日」が25.3% 外出する曜日は、「月曜日～金曜日の平日」及び「決まっていない」が多い 外出時間帯は午前が7割以上、帰宅時間帯は午後が6割以上 利用する移動手段は、自分で運転する「自家用車」が最も多い（約5割） 目的地は、扶桑町内が55.6%、大口町が25.8%、江南市が21.4%、犬山市が16.4%

	町民全体	障害者・高齢者
外出目的② 〈P. 15〉 〈P. 43〉	<p>二番目に頻度の多い外出目的は「買い物」(49.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外出頻度は、「週に1～2日」が約5割 外出する曜日は、土曜日・日曜日もしくは「決まっていない」が多い 外出時間帯は、午前が約6割、帰宅時間帯は午後が7割以上 利用する移動手段は、自分で運転する「自家用車」が最も多い(約7割) 目的地は、扶桑町内が56.3%、大口町が20.9%、江南市が15.5%、犬山市が11.0% 	<p>二番目に頻度の多い外出目的は「買い物」(35.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外出頻度は、「週に1～2日」が32.7%、「週に3～4日」が23.0% 外出する曜日は、「決まっていない」が最も多い 外出時間帯は午前が約7割、帰宅時間帯は午後が6割以上 利用する移動手段は、自分で運転する「自家用車」が最も多い(約6割) 目的地は、扶桑町内が60.6%、江南市が22.3%、大口町が21.9%、犬山市が12.3%
外出目的③ 〈P. 19〉 〈P. 47〉	<p>三番目に頻度の多い外出目的は「食事・娯楽・イベント参加」(38.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外出頻度は、「週に1～2日」が39.5%、「1ヶ月に数日」が31.7% 外出する曜日は、「決まっていない」が最も多く、次いで土曜日・日曜日 外出時間帯は、午前が半数以上、帰宅時間帯は午後が7割以上 利用する移動手段は、自分で運転する「自家用車」が最も多い(約7割) 目的地は、扶桑町内が46.4%、江南市が20.9%、大口町が15.7%、犬山市が9.8% 	<p>三番目に頻度の多い外出目的は「通院」(30.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外出頻度は、「1ヶ月に数日」が39.0%、「週に1～2日」が27.1% 外出する曜日は、「決まっていない」が最も多い 外出時間帯は午前が6割以上、帰宅時間帯は午後が6割以上 利用する移動手段は、自分で運転する「自家用車」が最も多い(約6割) 目的地は、扶桑町内が54.8%、江南市が20.3%、大口町が14.7%、犬山市が12.4%
日常生活における移動の不便さ 〈P. 23〉 〈P. 52〉	<p>不便さを「あまり感じていない」「感じていない」が65.5%、「とても感じている」「感じている」が28.3%</p> <p>※「とても感じている」「感じている」と回答した人の割合は、年齢別では80歳以上で52%、20歳未満で46.2%、地区別では小淵で62.6%</p>	<p>不便さを、「あまり感じていない」「感じていない」が57%、「とても感じている」「感じている」が30%</p> <p>※「とても感じている」「感じている」と回答した人の割合は、小淵で63.7%、山那で43.8%、南山名で41.7%</p>
移動の不便さを感じている理由 〈P. 24〉 〈P. 52〉	<p>不便さを「とても感じている」「感じている」理由は、「自宅から駅までが遠い」が60.4%、「タクシーが利用できるが、料金が安い」が39.6%</p>	<p>不便さを、「とても感じている」「感じている」理由は、「自宅から駅までが遠い」が53.7%、「タクシーが利用できるが、料金が安い」が44.4%</p>
公共交通がない・利用しづらいことによる外出控え 〈P. 25〉 〈P. 53〉	<p>外出を控えたことが「ない」が63.9%、「よくある」が4.7%、「たまにある」が22.6%</p> <p>※「よくある」「たまにある」と回答した人の割合は、年齢別では20歳未満で53.9%、80歳以上で38%、地区別では小淵で50%、山那で41.7%</p>	<p>外出を控えたことが、「ない」が53.6%、「よくある」が6.1%、「たまにある」が21.7%</p> <p>※「よくある」「たまにある」と回答した人の割合は、地区別では山那で37.6%、柏森で31.7%</p>
新たな公共交通の利用 〈P. 26〉 〈P. 53〉	<p>新たな公共交通が利用できるようになった場合、「利用したい」が43%、「わからない」が36.7%</p> <p>※「利用したい」と回答した人の割合は、年齢別では70～74歳で54.9%、75～79歳で54.7%、80歳以上で50%、地区別では山那で75%、小淵で50%</p>	<p>新たな公共交通が利用できるようになった場合、「利用したい」が43.6%、「わからない」が33.9%</p> <p>※「利用したい」と回答した人の割合は、地区別では小淵で63.6%、南山名で50%</p>
新たな公共交通のサービス・利用料金 〈P. 28〉 〈P. 54〉	<ul style="list-style-type: none"> 利用したいサービスは、「コミュニティバス」が72.6%、「デマンド交通」が12.8% 負担してもよい利用料金(片道)は、「300円まで」が65.3%、「500円まで」が14.6% 	<ul style="list-style-type: none"> 利用したいサービスは、「コミュニティバス」が66.3%、「デマンド交通」が20.4% 負担してもよい利用料金(片道)は、「300円まで」が56.7%、「500円まで」が20.4%
公共交通中心の生活への転換 〈P. 29〉 〈P. 55〉	<p>新たな公共交通が利用できるようになった場合、公共交通中心の生活への転換を「今はできないが、将来的にはできると思う」が36.1%、「たまにならできると思う」が18.9%、「できると思う」が14.9%</p>	<p>新たな公共交通が利用できるようになった場合、公共交通中心の生活への転換を「今はできないが、将来的にはできると思う」が30%、「できると思う」が21.9%、「たまにならできると思う」が15.3%</p>
公共交通の目的 〈P. 30〉 〈P. 55〉	<p>町の公共交通について考えられるべき目的は、「高齢者や障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため」が54.8%、「買い物ができるようにするため」が49.9%、「通院ができるようにするため」が47.5%</p>	<p>町の公共交通について考えられるべき目的は、「買い物ができるようにするため」が51.4%、「高齢者や障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため」が48.3%、「通院ができるようにするため」が46.7%</p>